

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立西淀川区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課(電話:06-6208-8054)
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足と回答される方」の割合
数値目標	84.6%以上(26ある老人福祉センターで実施(H30年度～令和2年度)したアンケートの平均)
指定管理者名	社会福祉法人大阪市西淀川区社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足と回答される方の割合
数値目標	84.6%
年度実績	94.0%
達成率	111.1%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	16,247	9,386	6,861

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	17,116,000	17,116,000	0	—
	計画	17,116,000	17,216,000		
その他	実績	41,705	106,117	-198,295	—
	計画	240,000	240,000		
合計	実績	17,157,705	17,222,117	-198,295	—
	計画	17,356,000	17,456,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	13,388,629	13,751,817	-711,371	—
	計画	14,100,000	14,100,000		
物件費	実績	3,258,905	3,150,604	2,905	—
	計画	3,256,000	3,356,000		
合計	実績	16,647,534	16,902,421	-708,466	—
	計画	17,356,000	17,456,000		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足と回答される方」の割合	111.1%	A	感染症による影響がある中で、本市が定める水準を達成している。

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・最低限での空調機使用及び什器更新の見送り。 ・消耗品の使用節約。	B	光熱費の高騰があったが、節電を行うなど、市費の縮減に努めた。

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・利用者を含めた消防訓練の複数回実施することにより利用者の安全管理を図っている。 ・感染症対策のため、来館時手指消毒などの対策を実施している。
事業計画の実施状況	B	・男性及び比較的低年齢層の利用拡大を狙い、企業との連携しスマートフォン教室等を企画・開催するなど、工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・西淀川区内高齢者向け福祉施設の拠点として役割を果たすために、区役所や地域包括支援センターなどの地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報保護に関する方針を定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、ゴミの分別処理など実効性のある取組を行っている。

令和4年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

<p>(1)調査方法 センター利用者に対してアンケート調査を実施</p> <p>(2)回答者100人(未記入者含む)</p> <p>(3)質問項目 ア 基本的な事項(年齢、居住区等) イ 満足度 ウ 感染症による影響、所持している電子機器等</p> <p>(4)結果 ・総合満足度において、満足(やや満足)と回答される方が94.0%となっており、利用者の満足度は非常に高い。</p>

6 外部専門家意見

<p>1 事業報告書の実施事業について、PDCAのD(実施内容と結果)では番号が振られているが、C(成果と課題)・A(改善策・対応策)では記載がまとめられていることから、PDCAのつながりを把握しにくくなっている。つながりを把握しやすくするためにもP・D・Cに同じ番号を附番し整合性がわかるように記載いただきたい。</p> <p>2 平等利用の確保や利用者サービスの向上策・センターの利用促進策の記載方法について、事業の大きな柱のみを記載するのではなく、次年度はPDCAがわかるように記載していただきたい。</p> <p>3 アウトリーチの取組(出前講座など)として、法人と協力して地域での活動にも積極的に取り組んでいただきたい。</p> <p>4 男性利用者の増加に向け、囲碁・将棋以外の男性利用者に対しての働きかけも行っているが、センターに来る機会のある地活協運営委員会の男性等などからも聞き取るなどニーズのキャッチを行う工夫を行っていただきたい。</p> <p>5 センターは利用者が楽しむだけの場ではないため、利用者が持っている強みを活用して、地域に繋がっていきけるような取組の支援を行っていただきたい。また、センターの運営企画に関しても、利用者が一緒につくりあげるという視点で、事業を運営企画していただきたい。</p> <p>6 センターだよりについて、利用者の意見を聞きながら、広報媒体としてのセンター便りの紙面構成として妥当かどうか検討していただきたい。</p>
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部イベントの自粛や活動内容の変更などがあったものの、総合満足度が94.0%と目標値を10%近く上回っており、本市が求める水準を達成している。
市費の縮減	B	事業計画の基づき、節電や消耗品の使用節約に努めている。
管理運営の履行状況	B	男性や比較的低年齢層の利用拡大の為、企業と連携した企画の開催や、利用者の意見、要望を把握し、実情にあったトライアル事業に取り組むなど、魅力あるセンター運営となるよう努めている。 アウトリーチの取組として、法人と協力し積極的に地域での活動を行い、地域住民が相互に支え合える地域交流の場として、引き続き施設の利用促進に向けご尽力いただきたい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	本市が期待する管理運営を行った。